

施策3

がん患者の生活の質の向上

近年、がんは、外科的治療や化学療法、放射線療法など治療方法の選択肢が増え、患者の生存期間が延びるとともに、治療を行いながら仕事や学業に専念することが可能となりました。

その一方、がん患者を取り巻く社会の理解は進んでおらず、がん患者の不安を取り除くための相談体制や経済面での支援をいかに進めるかが課題となっています。がん患者への理解・共生を進め、社会全体でがん対策による生活の質の向上を図るために、がん患者の心理的不安や、苦痛を軽減し、社会で自分らしく生活できるよう支援する取り組みが重要です。

目標

- がん患者及び家族に対する相談支援の充実
- がん治療における外見の変化に伴う患者の身体的・精神的な負担を軽減するためのアピランスケアに伴う経済的負担の軽減

取組みの方向性

- がん患者の支援にあたっては、治療やその副作用等医療に関する専門的な内容を提供するため、荒川区医師会やがん専門医を擁する病院との連携を強化し、情報提供に努めていきます。
- がん患者の身体的・精神的な負担を軽減するにあたっては、医療用ウィッグや乳房の補正具などを活用することが有効であることを周知していくとともに、これらの品目を購入・レンタルされた方に対して、費用の一部を助成していきます。

主な取組み

事業名	がん患者へのアピランスケア支援事業	区分	新規・充実・継続
		所管課	保健予防課
内容	がん患者の、治療による外見の変化(アピランス)に起因する心理的苦痛を軽減し、がんに罹患する前と変わらず、社会で自分らしく生活できるよう、区がウィッグなどの購入等にかかる費用を助成します。		
今後の方向性	新規で助成を開始し、アピランスケアを必要とする方に周知が行き渡るよう広く普及啓発を行います。		
子ども(0~17歳)	青壮年期(18~64歳)	高齢者(65歳~)	女性
○			

事業名	がんケア相談事業	区分	新規・ 充実 ・継続
		所管課	保健予防課
内容	関係機関と連携し、相談者の状況に合わせて、適切な相談機関等につなげます。		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との情報共有を行う場である荒川区がん検診精度管理委員会を活用し、患者支援のための連携を強化していきます。 ・対応する職員のがんケア相談の研修参加を進め、知識を深めます。 		
子ども（0～17歳）	青壮年期（18～64歳）	高齢者（65歳～）	女性